

青空



令和6年度
No.13
3月号

未来を目指して

校長 坂瀬 一哉

二月は降雪もあり、寒い日が続きましたが、温かな日差しを得る時もあり、日一日と春めいてきていることを感じる時期となりました。

今月五日には計算(算数)大会、六日には漢字(国語)大会をおこない、これまで学んできたことをしっかりと定着させることのできるよう取組を進めています。

職員室前の廊下には、「その二っこ きらり おすすめの本」が掲示され、子ども達がおすすめの本を楽しく紹介してくれています。

また、二十一日には「六年生を送る会」を開催し、全校で六年生への感謝を伝えたいところです。参観いただきました来賓の皆様、六年生保護者の皆様には感謝申し上げます。

六年生は三月二十一日には卒業証書授与式を迎えます。この一年間、最高学年として「笑顔の絆で輝こう、みんなにこにこそこの二っこ」の児童会スローガンのもとに下級生のよきお兄さん、お姉さんとして学校をリードしてきてくれました。特に、今年度の一年生を迎えた入学式の準備や一年生の世話、みんなで燃え上がった運動会の応援、各委員会の活動等、多くの児童会行事や学校行事の取組を優しい想いを持ちながら創りあげてきてくれました。園部第二小学校の伝統を創りあげてきた六年生の最後の授業である卒業証書授与式が素晴らしいものとなるよう、一年生から五年生も心温まると同時に厳粛な式となるよう努めていくことと思います。六年生の残り少ない小学校生活をさらに充実したものになるよう支えていきたいと考えています。

同時に一年生から五年生は間もなく六年生から「伝統」というバトンを受け継ぎます。今年度のまとめをしっかりとおこなった上で未来の新たな園部第二小学校を創っていくことのできるよう準備をしてほしいと願っています。

地域の皆様、保護者の皆様には「その二っこ」のこの一年間の成長した姿にも目を向けお声かけ頂くとともに、今後も引き続き温かなお言葉がけをよろしくお願いいたします。



ネットトラブル講座

2月26日(水) 4・5・6年生は、京都府警察署の方からネットトラブルについて教えていただきました。

SNS等に潜む被害者や加害者になる危険について、警察の方から学ぶことのできる貴重な機会となりました。



人権擁護啓発ポスターコンクール

佳作
4年

世界児童画展コンクール

入選
1年

佳作

2年									
1年									

6年生を送る会 「ありがとう6年生！」

フーフレー! 6年生
がんばれ!がんばれ! 6年生

2月21日(金)に、6年生を送る会を行いました。6年生に感謝の気持ちを伝える会として、来年度のリーダーとなる5年生が中心となって準備を行いました。今までお世話になったことへの感謝の気持ちを伝え、また、中学校生活へのエールを送ることができるよう、各学級の児童が準備を進めてきました。当日は、来賓及び6年生保護者の皆様に見守られながら、各学年とも工夫を凝らした発表で6年生への感謝とエールを送り、温かい雰囲気にも包まれたすばらしい会となりました。



令和6年度園部第二小学校「学校経営計画(スクールのマネジメントプラン)」について

令和6年度の本校の教育活動・学校運営につきまして、保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート（「学校だより2月号」に掲載）や、児童、教職員のアンケート、学校運営協議会等での意見により評価を行いましたのでお知らせします。今後も引き続き、地域の皆様や保護者の皆様との連携・協働による学校づくりを進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学校教育目標	学校の現状分析	学校経営方針(中期経営目標)		
<p>【園部中学校ブロック】ふるさとを愛し、夢をかなえるために、知力・心力・体力の向上を目指すそのベっ子の育成</p> <p>【園部第二小学校】 「やさしく かしく たくましく」 ～豊かな人間性と確かな学力を持ち、心身ともにたくましい児童の育成～</p> <p><めざす学校像> 「一人一人が輝き、ともに学び、育ち合う学校」</p> <p><めざす児童像> ◇思いやりのある子 ◇目標に向かって努力する子 ◇心身ともにたくましい子</p> <p><めざす教職員像> ○児童一人一人への深い理解 ○豊かな人間性と高い授業力 ○学び続ける力と創造力 ○組織的な協働体制</p>	<p><児童の実態> ◇良い点◇ ・全体的に明るく、元気に活動できる。 ・学習や様々な活動に積極的に取り組むことができる。 ・課題や自分の役割に対して、真面目に取り組むことができる。</p> <p>◇さらに伸ばしたい点◇ ・自己肯定感や自己有用感 ・主体的に学びに向き合う力と他者や自己との対話的な学びの力 ・主体的に将来を切り拓き、たくましく生きる力</p> <p>[学校・地域の協働体制] ・熟議を深め、学校運営協議会を軸として、児童の育ちを支えるための協働体制の充実と取組の見える化を推進する。</p>	<p>◇人権尊重を基盤として◇ ○豊かな人間性の育成 ○確かな学力の育成 ○たくましい体づくり ○地域とともにあゆむ学校づくり</p> <p>知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図り、予測困難な時代をたくましく、しなやかに生きぬく力を身に付けさせる。 (1)一人一人の人権を大切に自己肯定感を高める学級経営の推進と、自己を尊重する態度や実践力の育成 (2)個々のよさや可能性を最大限引き出し、「主体的・対話的で深い学び」をうみ出す学習活動の推進 (3)災害・防災・健康安全等についての理解を深める取組の推進と、自ら考え、進んで行動できる実践力の育成 (4)地域とともにあゆむ学校づくりを進め、学校・家庭・地域が創意工夫して取り組む地域学校協働活動の推進と「地域道徳」の推進</p>		
学校経営の重点(短期経営目標)	成果	評価	課題	改善策等
1 一人一人の人権を大切に自己肯定感を高める学級経営と、地域と協働した体験的な学びの充実を図ることによって、自己を尊重する態度や実践力の育成を目指す (児童アンケート「①自分によいところがあると思う」と答える児童85%以上、「②友達を大切にしている」と答える児童90%以上)	全校ウォークラリーや各学年ごとに地域の教育資源を生かしながら取り組んだ地域協働活動を通じて、児童は自らのよさに気づき、周囲の人の大切さを感じるようになりつつある。 【児童】①81%②100%	B	児童アンケートにおいては、ほかの項目に比較して、児童の自己肯定感が低いことが明らかになっており、今後、地域だけでなく家庭との協働を図っていくことが重要となる。	すべての児童が安心感を持って学校生活を送るとともに、一人一人のよさを尊重する姿勢と他者を傷つける言動は許さないという指導の徹底を図るとともに、人権旬間の取組をより広げ、発展させる。
2 日々の児童理解や全校一致した指導を重視し、いじめをはじめとした人権侵害を許さない温かな仲間づくりを進めるとともに「ケースリスト」の作成による児童の就学前から義務教育にわたる適切な支援を図る。 (保護者アンケート「③友達と仲良くしたり、思いやりをもって人と接したりすることを大切に指導している」肯定的評価95%以上)	人権教育の取組と異年齢集団による活動を様々な行事等に適切に位置付けることによって、低学年児童は協力の大切さを、高学年児童は思いやりの気持ちを育ててきた。 【保護者】③95%	A	「ケースリスト」の作成に終始するのではなく、「ケースリスト」の活用を通じて、就学前から義務教育を通じて切れ目のない支援と、人権教育のさらなる充実を図る。	定期的に「ケースリスト」を活用した研修会や児童交流の機会を設定することで、より児童理解を進めるとともに時間軸を重視した指導や成長のあしあとを教職員が共有し、全校一致した指導の徹底を図る。
3 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりと授業力の向上 (児童アンケート「④授業の中で、自分で考え、友達と考えを深めるのが楽しい」と答える児童90%以上、教職員アンケート「⑤ICT機器を効果的に活用し、主体的・対話的な学びを深めるための様々な工夫を行っている」肯定的評価95%以上、「⑥児童の対話的な学びが深まる授業のコーディネート力を高めることができた」肯定的評価80%以上)	研究主題である「自ら考えをもち、学びの深まりを実感する児童の育成」を目指し、3つの仮説を設定し実践的な授業研究に取り組むことを通じて主体的・対話的で深い学びの実現へつながる道筋を教職員が共有しつつある。 【児童】④85% 【教職員】⑤75%⑥67%	B	授業実践において、児童の主体的学びや発言を促す発問の在り方や、学びに向かう姿勢をよりよく育む指導者としてのコーディネート力を全教職員が身に付けることのできる取組を工夫すること。	引き続き、国語科の授業実践を軸としながら、これまで取り組んできた文学教材の読解力向上を目指した研究の充実を図る。
4 学校運営協議会を軸として、地域の強みを生かしながら、「考え、議論する道徳」の取組の充実を図る。(児童・保護者アンケート「⑦家や近所、学校で進んで挨拶をしている」肯定的評価85%以上、保護者アンケート「⑧地域・家庭と協働した教育活動の推進」肯定的評価90%以上)	学校運営協議会主催の熟議である「コミスクわいわい会議」を通じて、地域、保護者、学校が一緒になって、人権学習や道徳の授業を考え、協働しながら実際に授業を行うことによって道徳教育の充実を図ることができた。 【児童】⑦89%【保護者】⑦77%⑧94%	B	道徳教育の要である道徳の時間をさらに充実していくことのできるようカリキュラムマネジメントを工夫し、「考え議論する道徳」の充実に向け、課題設定等を創意あるものにしていくこと。	地域と協働しながら道徳の充実を図ってきており、今後、体験活動を取り入れることによって、自分事としての道徳の授業となり、主体的に「考え、議論する道徳」の創造に繋いでいく。
5 GIGAスクール構想を推進し、タブレット等ICT機器とAIドリル「すらら」の有効活用による個別最適な学習の充実と主体的対話的深い学びの充実を図る。(児童アンケート「⑨タブレット等を使った授業はよく分かる」肯定的評価90%以上)	児童の学習理解を深めるとともに、授業のユニバーサルデザイン化を推進するため、ICT機器を有効活用しつつ、「すららカップ」を開催し個別最適な学習の充実を図ることができた。 【児童】⑨95%	B	AIドリル「すらら」については、児童一人一人の個別最適な学びを実現するためのツールとして児童が取り組めるよう「すららカップ」等の創意ある取組を広げること。	不易と流行の役割や一体的で効果的な学びを考え、AIドリル「すらら」が効果的に活用され、個に応じた個別最適な学びとなる取組を創る。

令和7年 3・4月の行事予定

3月

- 3日(月) 児童委員会
- 5日(水) 計算大会
- 6日(木) 短縮校時開始(予定)
漢字大会
- 7日(金) 6年 感謝の会
児童集会
- 10日(月) 6年 交通安全教室
- 12日(水) 地域児童会
- 13日(木) 4年 「ありがとうの花」贈呈式
- 18日(火) 卒業証書授与式 予行
給食 最終日
- 19日(水) 1～4・6年 短縮3校時授業(11:15下校)
5年 短縮4校時授業(12:00下校)
※卒業式準備のため
- 21日(金) 令和6年度卒業証書授与式(12:00下校)
- 24日(月) 令和6年度修了式(12:00下校)



4月

- 3日(木) 令和6年度 離任式(10:30頃下校)
- 4日(金) *PTA本部役員会 19:00
- 8日(火) 令和7年度 着任式・新任式
第1学期始業式
- 9日(水) 令和7年度 入学式
- 10日(木) 短縮4校時授業 ※11日(金)まで
地域児童会
*PTA学年委員選挙開票(4・5・6年) 19:00
*PTA学年委員選挙開票(1・2・3年) 19:00
*PTA本部役員会
- 11日(金) 通常校時・給食開始
児童委員会
- 14日(月) 6年 修学旅行保護者説明会 16:00
*PTA学年・専門合同委員会 19:00
*PTA本部役員会
- 18日(金) 短縮4校時授業・家庭訪問 ※24日(木)まで
*PTA運営委員会 19:00
*PTA本部役員会
- 21日(月)
- 25日(金)

現時点での計画です。

今後、変更することもありますのでご了承ください。